

山田わか わか 評論家。明治二十一年十一月一日神奈川県生まれ、昭和二十二年九月六日没（八十九歳）。舊姓浅葉。十六歳で結婚、明治二十九年頃實家没落によりアメリカに渡り、娼婦となる。救済施設でキリスト教に入信し、教師の山田嘉吉と再婚。二十九年歸國、雑誌『青鞜』を始り新聞の女性相談欄などに活躍、最も人気のある女流評論家となりた。昭和九年母性保護法制定促進婦人聯盟委員長。戦後と東京都市母子保護連盟委員長、母を護るの会会長、東京家庭裁判所調停委員等を務めた。

著書に『女、人、母』（大正八年十一月五日森江書店）、『戀愛の社會的意義』（大正九年三月一日東洋出版社）、『愛と生活と』（大正九年四月一日二徳社）、『社會の額づく女』（大正九年九月八日耕文堂）、『現代社會問題文化大學講義』（他十冊）著・長田曉と編、大正十二年二月二十日維新社、稻畑堂出版部）、『婦人運動の思想的考察』（昭和二年六月十日學藝講演通信社）『學藝講演通信社パンフレット』、『新女性讀本』（昭和七年六月十八日文録社）、『戦火の世界一周記』（昭和十七年一月二十日主婦之友社）等。譯書、マグダレン・マルクス著『女』（大正十年四月十八日耕文堂）がある。傳記に、山崎朋子著『わがめゆきとこの歌ー山田わか』、新詩の生生涯』（昭和五十二年四月二十日文藝春秋）。

